大學新聞
昭和十九年十一月一日　第三種郵便物認可
毎月一回一日発行　定價拾錢
東京市麻布区本村町三番地　大學新聞社
電話麻布(四)一二〇八番
振替口座東京一一七一七番
東京都麻布区本村町三番地　大學新聞社
印刷人　栗原敬次
一部十錢　年間拾錢
郵便料金五円七拾錢

出動學徒の戰力伸長に
八動員視察班を常置
既に第一回査察を實施中

學徒出動後の學園體制

學徒動員視察班編成表

視察班の日程

學徒出動後の學園體制

學學、戰列の第一線へ

受入側の設施の擴充望む

徹底期せ健康管理

大學生の學徒出動

學徒出動後の學園體制

學徒出動後の學園體制

學徒出動後の學園體制

勤労動員学徒の挺身と課題

基幹工員への生長急務

勤労配置と質の問題

美濃口時次郎

文・最高學年の復學

動労動員と学徒隊制

廣瀬嘉雄

能力發揮の施策を

産業體制と勤労能率

谷口吉彦

渾融的昂揚への道

近代工業組織と情操教育

野田良之

生産場の有機化

受入體制と作業組織

諸井貫一

軍樂隊

雷撃隊出動

撮影最高潮

堂々聯合艦隊

を背景の巨篇

出陣の徒學動出

勤勞動員に出動中の學徒諸君から出陣の記念として、これからの二年間は、勤勞動員に、學徒隊に、戰場に、銃後に、あらゆる場面に、あらゆる方面に、あらゆる方法で、あらゆる手段で、あらゆる力で、あらゆる心で、あらゆる身で、あらゆる命で、あらゆる魂で、あらゆる生で、あらゆる死で、あらゆる神で、あらゆる佛で、あらゆる天で、あらゆる地で、あらゆる人で、あらゆる物で、あらゆる事で、あらゆる時で、あらゆる所で、あらゆる日で、あらゆる月で、あらゆる年で、あらゆる世で、あらゆる宇宙で、あらゆる大宇宙で、あらゆる小宇宙で、あらゆる無で、あらゆる有で、あらゆる空で、あらゆる色で、あらゆる音で、あらゆる香で、あらゆる味で、あらゆる觸で、あらゆる法

陣歿學徒の手記

激戰の空轟く銃砲聲
＝初陣の夜、敵襲に遭ふ＝

東部軍　松本博臣

學徒戰記

輸送船にて

征旅に感傷なし
胸打つ祖國訣別の一瞬

學徒訓練

擢る滅敵の操縦桿

遺書

吾今為國死
死不負君親
悠々天地事
鑑照在明神

昭和拾九年五月四日　茂井敬二

日記から

入營を待ちつゝ
征くまでを心靜かに

靜かなり十字星

斷章

闘魂病床に燃ゆ

記

一兵の任務

弟へ

努力の到りさりしを悔む

同盟世界週報

資本の純粹理論

奉仕の道德學

通信講座

紅鷄文庫

成固理修

神々の座

飛行機の構造要素

印度史の分析

ドイツ語

社會民國

高山書院

同盟世界週報

資本の純粹理論

城大第三次蒙疆學術調査隊報告

探査虚しからず
千以上の鉄柱石産地

岩瀬榮一

三たびみの綜合成績
「敵資源の最高戰略化力を挫げ」

今村豊

工業建設も推進
最先進を行つ西北省實

森谷克巳

素質的には優秀
先住民教育の實況視察

天野利武

左右する地域性
男女多の人口構成問題

泉鈴一

大陸の系統的研究
人類・農業の中間報告

田崎鑑夫

百靈廟に掘る人骨
體質上からは蒙古人か

鈴木誠

ンサモト

新刊
道武士道と死生觀　西内雅
武士道と居合術　成瀬關次
國民總武装と日本武道　陸軍大將　荒木貞夫
射撃指導の急所　陸軍少將　田中玉
構想　陸軍中將　河邊虎四郎
文藝　陸軍中將　荒木貞夫
潮　岡倉天心覺書　藤森成吉
新　作家　草原の感情　竹内正一
日本語　十一月號
弘文社
大山　武著　最新應用機械學　第一編
大山　武著　最新應用機械學　第二編
伊藤西二郎著　初等機械力學
佐藤西二郎著　最新馬來語辭典
電通出版部刊
世界大海戰史考　伊藤正德著
勅撰和歌集の研究　松田武夫著
教育新體制の研究
The Balance Sheet
戰爭と科學
國語問題解決の基礎　京都帝國大學　館書
古代埃及彫刻集
山城物刀劍圖譜
林、料、力學　中川有三著